



(1) 高校生等へ提供するアントレプレナーシップ教育プログラムの開発・運営

- 九州・沖縄圏全域で、高校生等へのアントレプレナーシップ教育を20プログラム実施する。
- プログラム全体の参加人数は2,000人を目指す。
- プログラムの提供範囲に合わせて、3つのタイプのプログラムを実施する(図1)
 - プラットフォーム全体で実施するオンラインの教育プログラム
 - 拠点都市を中心に九州・沖縄圏全域から参加者を募る教育プログラム
 - 地方自治体と連携して実施する地域の特色を生かした教育プログラム
- プラットフォーム全体として体系的な教育プログラムを実施するために、30のプログラムを2つの教育レベル(アントレプレナーシップの醸成とアントレプレナーシップの発揮)と3つのカテゴリー(科学技術イノベーション型、社会課題解決型、実業家育成型)で提供する(図2)。

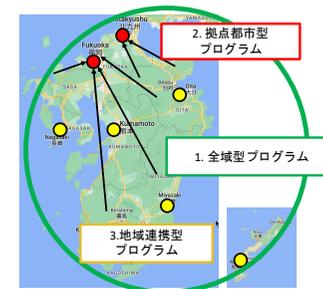


図1. 3つのプログラムタイプ
図1中の地図はGoogle Mapを使用しております。

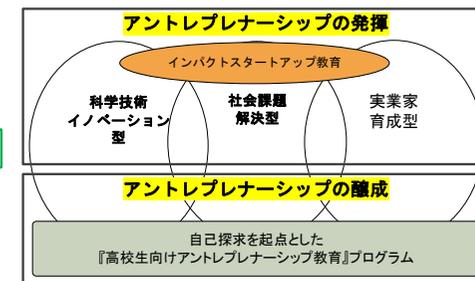


図2. カリキュラムの体系

<提供するプログラムの一例(予定)>

自己探求を起点としたアントレプレナーシップ教育プログラム【PARKSの取組】(全域型/高校生・高専生)

高校生達が、「自分らしさ」を活用した価値創出に向かい、周囲の人々を巻き込みながら、未来の社会に対して主体的に行動・実践していける素養を育む機会を提供する。

提供プログラムの最新情報はこちら
<https://www.parks-startup.jp/>

(2) 持続的にプログラムを提供する体制の構築

- 連携体制:**自治体や民間企業や高校等と連携して、地域全体で教育ができる体制を構築し持続化を目指す。
- 教育者の育成:**PARKSアーカイブシステムを活用する事で、教育の知見やノウハウをシステム上に集約し、教育に関わる人たちが教育コンテンツを利用したり、教育の方法を学んだり出来る環境を構築する。

(3) 広報・イベント等の実施

- 九州・沖縄圏全域の高校・高等専門学校等に周知等のためにPARKSの全体シンポジウムの中で高校・高等専門学校等の関係者を集めて情報共有を行う。
- 九州・沖縄圏全域の地方自治体と連携して、各県の教育委員会等を通じて、各県の高校等に告知を行う。
- PARKSのウェブサイトやSNS等を利用して告知を行う。

活動成果

令和5年度は、九州大学、九州工業大学、佐賀大学、長崎大学、大分大学、宮崎大学、北九州市立大学、第一薬科大学、福岡大学、福岡工業大学、沖縄科学技術大学院大学の11大学が、それぞれ地方自治体や民間企業や小中高・高専の教育機関と連携しながら、九州沖縄圏域の小学生・中学生・高校生・高専生に対してアントレプレナーシップ教育を実施した。全体で38プログラムを実施し、2,513人の高校生等の学生がアントレプレナーシップ教育を受講した。